



やまだ かずしげ
山田 一繁

職員の採用と育成は未来の日高市の質を決める長期的な「投資」！

動画で一般質問をご覧いただけます



意欲ある若手職員の確保は

答弁 誰もが受験しやすい環境を整備している

問 意欲ある若手職員の採用と育成は、未来の日高市の質を決める長期的な「投資」である。深刻化する人材確保・採用競争への対応は。

答 優秀な人材を確保するため、スポーツ・文化芸術に秀でた結果を残した人材および語学資格保有者に対して加点する「資格加点」、本市で働くことを第一希望とする成績優秀な学生に対して加点をする「大学推薦」を導入。人材確保の多様化を図っている。また、毎年9月に実施している統一採用試験に加え、今年度から民間企業の採用時期に合わせて試験スケジュールを早めた「早期試験」を導入し、試験制度の柔軟化・多角化を図っている。

問 採用後の人材育成と能力開発は。特に、リーダーシップ、リスクマネジメント、危機管理といった、高度な行政課題に対応するための能力を育成する研修は。

答 職員一人一人の資質の向上を図り、その可能性・能力を最大限に引き出すことを目指して策定した「日高市人材育成基本方針」に基づき、体系的かつ戦略的な人材育成を進めている。また、管理職候補者である主査級の職員に対して、リーダー育成に関する研修、キャリアデザイン研修等の実践的な研修を実施し、高度な行政課題に対応するための能力の向上を図っている。



かとう しょうご
加藤 将伍

11月19日、市内でクマと思われる動物の痕跡が初めて確認された

動画で一般質問をご覧いただけます



情報発信体制の整備・強化の考えは

答弁 公式SNS (LINEやX)を活用し、迅速な情報発信に努める

問 緊急銃猟の体制確立に向け、マニュアル策定をはじめとする体制整備の考えは。

答 11月19日に横手地内でクマと思われる動物の痕跡を初めて確認。今後、クマが人の日常圏に出没するような緊急時かつ危機的な状況下で円滑に行動をとるための対応マニュアルの策定や体制の整備は不可欠であると考えている。

問 猟友会・警察・県など関係機関との連携を、どのように構築していく考えかを伺う。

答 特に市と警察、地元獵友会が主体となって現場対応に当たることから、単なる横断的な協力にとどまらず、情報共有、役割の明確化、現場

訓練等を協同で実施し、連携強化を図っていく。

問 危険鳥獣の目撃情報を、市民に迅速かつ的確に届けるための情報発信体制について、今後どのように整備・強化していく考えか。

答 LINEやXなどの公式SNSを活用して迅速に情報発信するとともに、市ホームページ等により正確な情報提供をするよう努めていく。

問 目撃情報に対する判定について、発信する情報の正確性を担保するための体制を伺う。

答 猎友会と連携し、目撃場所で動物の爪痕や足跡、糞等の痕跡を確認し情報発信。緊急を要する場合、防災行政無線や広報車両も活用する。